



Vol.15

いばしょ



紙ひこうき

児童書リスト



一宮市立子ども文化広場図書館

～子ども読書のまち いちのみや～

2025 年4月

【初級】おはなしを読みはじめたみなさんへ



ぼくのなまえはユウユウ

初級

小手鞠 るい／作 サトウ ユカ／絵 今泉 忠明／監修
講談社

ぼくのなまえはユウユウ。おととしの夏に生まれたパンダ。おかあさんに守られて、ぼくはみるみる大きくなった。食べるのも、遊ぶのも、おかあさんといっしょ。「こんにちは、聞こえる？」おひるねをしているとき、いつも夢のなかで、友だちの声が聞こえる。きみはだれ？



スナックこども

初級

令丈 ヒロ子／さく まつなが もえ／え
理論社

ゆのんは、モヤモヤしています。おかあさんが、ゆのんの話もきかず、がみがみおこってきたからです。ムカムカ、イライラ…こんなきもちで、ねむれるはずありません。ふとんをはねのけ、みじたくをはじめます。そして、ベッドの下にごそごそと、もぐりこむと…。



うみへいったタマネギちゃん和ピーマンちゃん

初級

屋田 弥子／作 姫田 真武／絵
佼成出版社

タマネギちゃんは、うみへいくやくそくをしたピーマンちゃんをむかえにいけますが、ピーマンちゃんはまだねむっていて、なにをしても、おきません。ピーマンちゃんの空気をぬいて、くるくるまわめて、ねむったままのピーマンちゃんをつれて、うみへむかったのですが…。



こいぬのともだち

初級

堀 直子／作 いちかわ なつこ／絵
あかね書房

すてられたこいぬの ましろがともだちになったのは、おがわにすむめだかのキララ。キララは、おおあめでながされて、かいぬしのあおくんがむかえにくるのをずっとまっています。あるひ、ひとりのおとこのこが、キララのいるおがわにちかづいてきて…。



ほんとにともだち？

初級

如月 かずさ／作 高橋 和枝／絵
小峰書店

まあくんと、たんくんは、ひとこともしゃべらず ねんどあそびにむちゅうです。ふたりが あそぶときは、いつもしずかです。それをきにした まあくんのおねえちゃんから「ふたりは、ほんとにともだちなのか？」ときかれます。まあくんのところに もやもやがひろがって…。



番ねずみのヤカちゃん

初級

リチャード・ウィルバー／さく 松岡 享子／やく 大社 玲子／え
福音館書店

ヤカちゃんは、とにかく声の大きな子ねずみ。一家はトドさんの家のかべのすきまに、きづかれないうにすんでいます。ところがあるばん、ヤカちゃんのあまりの大きな声に、とうとうトドさんがきづいて…。ヤカちゃん一家のくらしは、どうなってしまうのでしょうか。



図書館のぬいぐるみかします ～わたしのいるところ～

初級

シンシア・ロード／作 ステファニー・グラエギン／絵 田中 奈津子／訳
ポプラ社

アイビーは、アンのおにんぎょう。でも、ずっとわすれられて。ある日、アイビーは、アンがはたらく図書館で、かしたしのできるぬいぐるみ「ブックフレンド」になることに。アンといっしょにいたいアイビーは、かりられたくありません。そんなアイビーを手にとったのは…。

【中級】少し長いおはなしにチャレンジしたいみなさんへ



あの日のあなた

中級

作／中川 なをみ 絵／大野 八生
くもん出版

しずりは、稲穂村に住む4年生。ひと月前から村にバスが来るようになりました。そのバスに乗ってメイさんはやって来ました。メイさんは、お父さんと一緒に いろんな所を旅して生活している旅のお方です。よそ者扱いされても平気な顔のメイさんとしずりは、仲良くなっていけますが…。



おもちゃ屋のねこ

中級

リンダ・ニューベリー／作 田中 薫子／訳 くらはし れい／絵
徳間書店

テオおじさんのおもちゃ屋の手伝いをしているハティ。店には、クルリンというねこが住みついています。ふしぎなもので、クルリンがいるだけで、お客がどんどんやってきて、おもちゃを買っていきます。ある日、たなに見おぼえない、小さな木の箱がおいてありました。

【上級】深く考えて読んでみたいみなさんへ



明日のランチはきみと

上級

サラ・ウィークス／作 ギーター・ヴァラダラージャン／作 久保 陽子／訳
フレーベル館

インドから転校してきたラビ。自分は優秀な生徒だと思っているため、英語力に問題があると言われても、なかなか受け入れられない。一方ジョーは、自分の欠点をわかっているため、消極的になってしまう。そんな二人が、いじわるなディロンの標的にされてしまっ…。



今日もピアノ・ピアーノ

上級

有本 綾／作 今日 マチ子／絵
Gakken

目標もなく中途半端な毎日を送っていた海斗は、塾へ行く途中、駅でピアノの曲が聴こえて足を止めた。弾いていたのは、2年前 妻をなくし思い出のつまったピアノから遠ざかっていた青柳さんだった。海斗はその優しい音色を聴いて、自分もピアノを弾いてみたいと思うように。



リスたちの行進

上級

堀 直子／作 平澤 朋子／絵
新日本出版社

由森の住む月の村市では、農作物や生態系を守るため、外来種のタイワンリスは、害獣といわれ駆除される。由森は、琴音から、死にそうだったタイワンリスの赤ちゃんを助けたこと、そして守りたいと相談される。せっかく助かった小さな命。どうしたら救うことができるのか。